【脳血流シンチグラフィを受ける際の注意事項】

- 検査の予約日時を守ってください。
- 検査前の制限は特にありません。
- 妊娠中・授乳中の方は申し出てください。

氏　　名:

予約日時:　　月　　日　　午前・午後　　時　　分

場　　所:

わからないことや不安な点がありましたら、遠慮なく担当の医師、技師、看護師におたずねください。

病院名

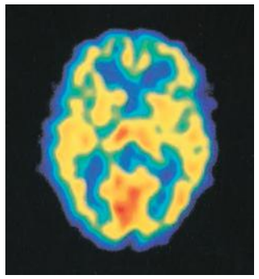
作成：日本メジフィジックス株式会社

核医学検査の手引き

脳血流シンチグラフィ

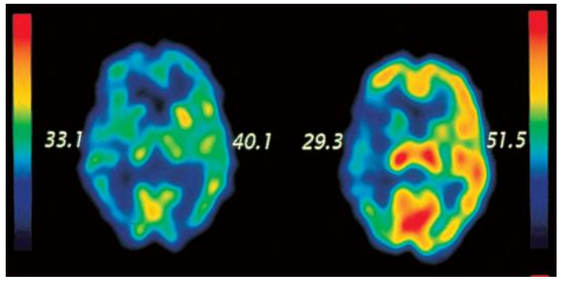
検査を受けるにあたって

健常者



安静時像

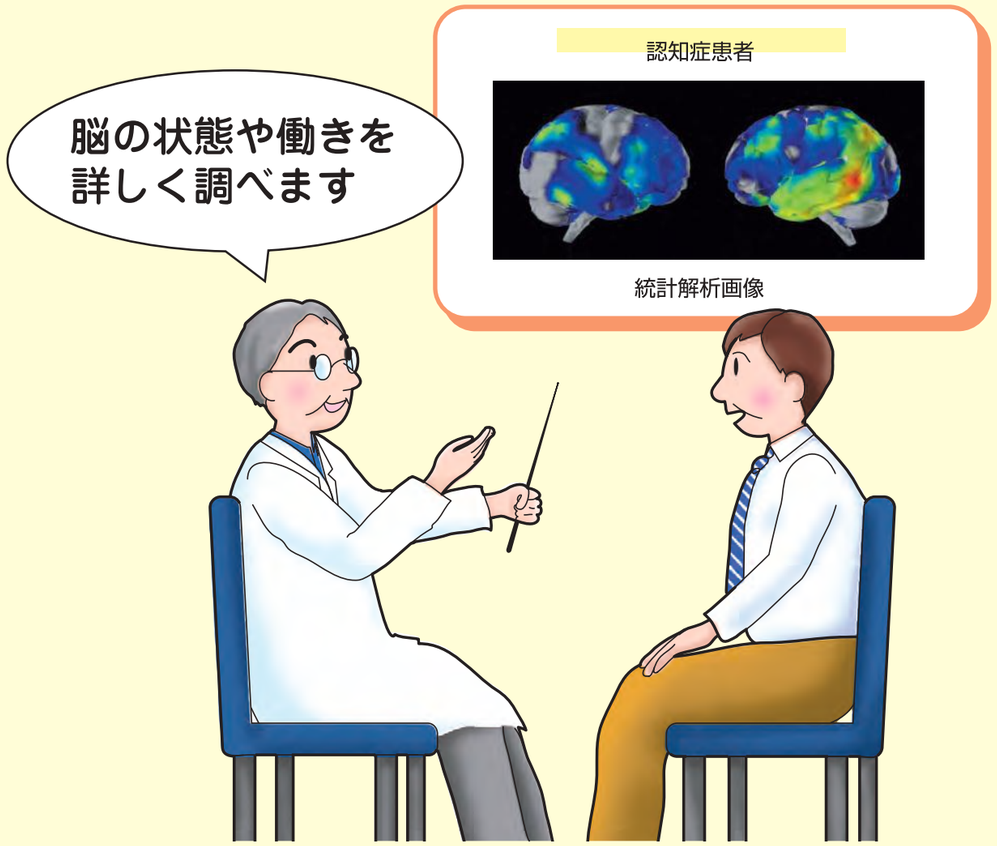
脳梗塞患者



安静時像　　負荷時像

認知症患者

統計解析画像

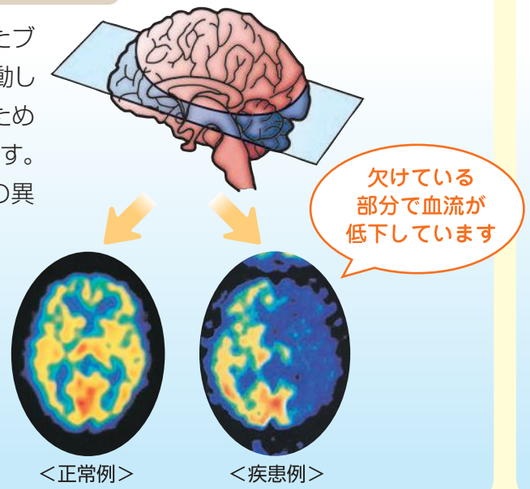


監修　日本脳神経核医学研究会

脳血流シンチグラフィとは

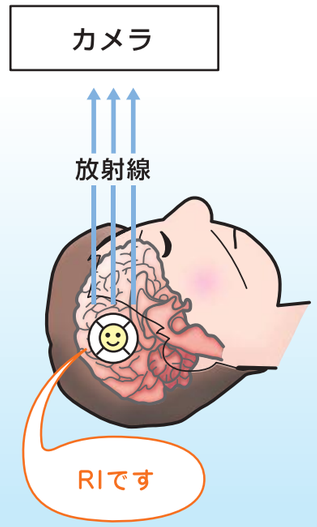
なにがわかるのですか？

脳は、血流により運ばれたブドウ糖や酸素を使って活動しており、正常に機能するためには、充分な血流が必要です。多くの脳の病気は、血流の異常を伴っています。脳血流シンチグラフィは脳血流のわずかな変化を見つけるための検査です。脳梗塞、てんかん、認知症などの病気の診断の際に実施します。



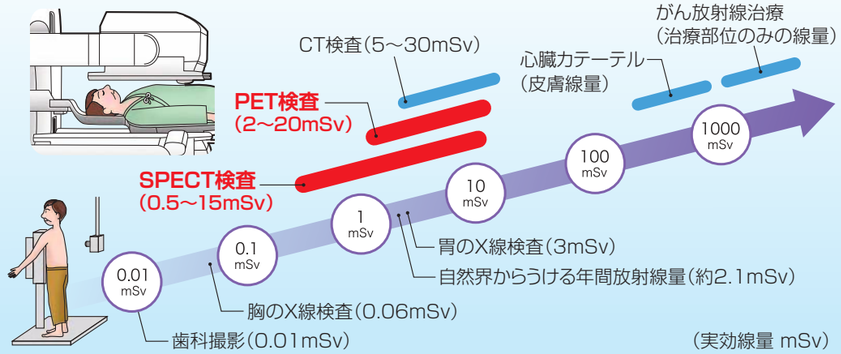
どうやって調べるのですか？

血流によって脳に運ばれ、脳に取り込まれる放射性医薬品を注射します。このくすりには、放射線をだすラジオアイソトープ（RI）という“しるし”がついています。脳に取り込まれたくすりから出る放射線を特殊なカメラで撮影します。血流の多い部位は取り込みが高く、血流の少ない部位は取り込みが低く写ります。



放射線の影響について

核医学検査1回あたりの被ばく線量は0.5～20mSv程度で、X線検査やCT検査でうける被ばく線量と同程度と考えられます。検査の目的により投与する検査薬の量は異なりますが、投与量は微量なため、副作用はまれです。



【参考資料】国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
●量子医学・医療部門 CT検査など医療被ばくに関するQ&A ： https://www.qst.go.jp/site/qms/1889.html
●放射線医学総合研究所 放射線被ばくの早見図 ： https://www.qst.go.jp/site/nirs/hayamizu.html

検査の受け方

検査前

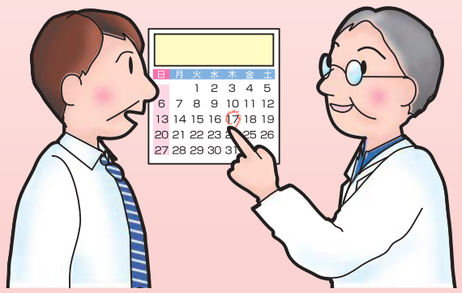
• 診察を受けます

症状に合わせて検査の計画を立てます。疑問や不安がありましたら、納得のいくまで確認しておきましょう。
妊娠中や授乳中の人は申し出てください。

• 検査の予約をしてください

検査に使うくすりは検査日当日しか使えないため、検査予定に合わせて用意をします。直前のキャンセルは難しいため、確実に来られる日に予約してください。

• 注意事項、指示を確認しておきましょう



検査日まで

特に制限はありませんが、
指示があれば従ってください

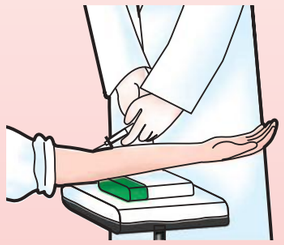
検査当日

• 検査室に入り準備します

専用のスリッパに履き替え、眼鏡や大きなピンなど頭部につけている金属製品をはずします。

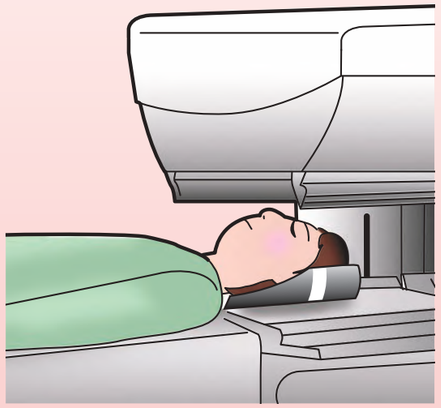
• くすりを注射します

検査に必要な放射性医薬品を静脈注射します。



• 検査をします

装置のベッドに仰向けに寝ている間に検査します。頭の周りをカメラが回ったり、トンネルのようなカメラの中に頭を入れたりして撮影します。検査中は頭を動かさないでください。
20～30分で終わります。
もし気分が悪くなったら我慢せずお申し出ください。



終了

検査後

• 結果の説明を聞きます

当日、または後日担当医から説明があります。
他の検査結果と合わせて診断を行います。